

地域の皆様と川島ロイヤル・ワム・タウンを結ぶ広報誌

# ふれ愛

NO.  
128  
2025.2月号

<https://www.loyal-wam-town.jp/>

「今年も獅子舞が舞いました」

Contents

## 年始は獅子舞で厄払い

介護老人保健施設 平成の森

## 紅白歌合戦

介護老人保健施設 平成の森

## クリスマスリース制作

介護老人保健施設 平成の森

## ワムタウン通信～材料はすぐそこに

介護老人保健施設 平成の森

## 川柳クラブ

介護老人保健施設 平成の森





平成の森・通所リハビリテーションでは、12月31日の大晦日に「紅白歌合戦」を行いました。ステージには紅白幕を張り、カラオケの映像をプロジェクターに投影し、迫力のある大画面で雰囲気は最高です。

ご利用者様には紅白の2グループに分かれていただき、冬に関する歌、男性の歌、女性の歌、デュエット等、色々なジャンルで対決しました。歌われている方以外の人は、審査員としてその場で札を上げて頂き、一曲毎に勝敗が決まる寸法です。あまり歌が得意でない方も、三三七拍子などの応援で参加して、自分のチームの勝利を後押ししました。

熱戦の結果は紅組の勝利に終わりましたが、得意の一曲を披露した方はもちろん、歌われなかった方も、チームで対決してとても楽しかったとおっしゃっていて、一年の締めくくりとして大いに盛り上がり大成功となりました。今後も皆様の笑顔が見られるようなイベントを企画していきたいと思ひます。

看護・介護科 吉野 幸男

## クリスマスリース制作

利用者から「その赤い実、もっとないの? たくさん散りばめたいのだけど」「家の庭からいろいろ集めて持ってきていい?」「ドングリは大きいのをアクセントに…」のご意見ご質問が多々あり、皆さんやる気満々、一心不乱にリース作りに集中する姿がそこにありました。

利用者の方々にとって“クリスマス”というのは、子や孫に「あげる側」の立場だったのではないのでしょうか。ましてやクリスマス

リースを作ったことなどない方がほとんどかと思ひます。それでも本当に楽しんで作ってもらえたことに安堵するとともに、とても嬉しく思ひました。次回はその期待をさらに上回るような企画をしたいと思ひます。



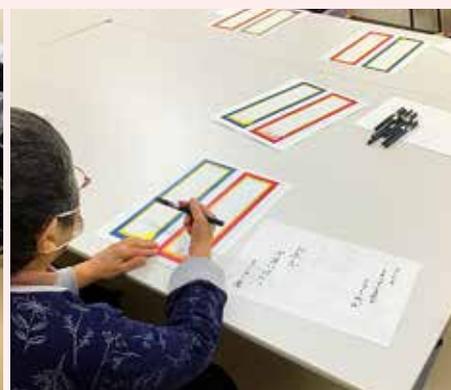
通所リハビリ 桜井・吉田



毎年恒例の新年のイベント「獅子舞」を1月4日に実施しました。獅子が舞うと厄を払って幸せを招き、頭を噛まれると邪気を食べてもらえると言われていています。獅子舞は、1Fの通所リハビリテーションから、4Fの療養棟まで全フロアを訪問します。音楽に合わせて踊りながら、ご利用者様一人一人の頭を噛んで回ると、喜ばれたり、驚かれたりと、普段と違った表情がたくさん見られました。噛まれる時に言っていただく願い事には、「健康でいたい」「転びませんように」「美味しい物が食べたい」など色々ありました。「家族に見せたいから」と、写真を撮って欲しいとのリクエストも多く、スタッフが撮影した写真を後日プリントしてお渡しすると、「本当に食べられちゃうみたい」と大変喜ばれていました。獅子舞役の職員は、各階を全力で舞い、足が震えるほど疲労困憊でしたが、見ているご利用者様は身を乗り出すほど大喜びでした。今年もご利用者様が笑顔で過ごせるようなイベントを企画し、提供していけるよう尽力したいと思います。本年もよろしくお願いいたします。看護・介護部 吉野 幸男

## 川柳クラブ

11月より新たに、老健の入所者の方を対象とした「川柳クラブ」が開始されました。川柳をいざ自分で作ろうと考えると、「難しい」「敷居が高い」と感じる方が多いようです。私は川柳がもっと身近で、思ったよりもずっと簡単に取り組めるものだと思っています。俳句や短歌よりも自由度が高く、感情や心の動きに重きを置いているので会話にこそヒントがあります。例えば、井戸端会議の中での何気ない会話の中や、その時々感情の動きがヒントになり、それが作品に繋がります。職員らと一緒に会話を楽しみながら、様々な“ヒント”を拾っていく。あとはそれを5・7・5にまとめるだけ。それが難しいという意見もありますが、盛り上がった会話の中にはたくさんのネタが詰まっています。ぜひとも一緒に会話を楽しみつつ一句詠んでみませんか？





平成の森通所リハビリテーションでは、季節感を大切にしたレクリエーションの提供をおこなっています。クリスマスリース、年賀状、節分飾りなど様々な作品を制作していますが、季節の行事に沿った作品を作るだけでなく、材料も季節感があるものを使用するように心がけています。木の实や葉っぱ、毛糸などその時期のものを使用することで視覚や触覚で感じることを大切に考えています。利用者様にも好評で、その季節の素材を使用することで、思い出話や自宅での様子など会話も弾んでいます。また、自宅の庭から木の实を持ってきてくれた方もいました。

今後も利用者様が四季折々を感じられるようなレクリエーションの提供に努めていきます。 通所リハビリ 桜井・吉田

編集後記 2月～立春～

まだまだ寒い日が続いております。2月といえばバレンタインデーがありますね。本命チョコや義理チョコという言葉はよく聞きますが、チョコを贈る相手や気持ちによって、その名称はどんどん多様化しています！本命チョコ：好きな人や恋人に贈るチョコ。義理チョコ：本命以外の人に贈るチョコ。世話チョコ：お世話になった人に、感謝の気持ちを込めて贈るチョコ。マイチョコ：自分のために用意するご褒美チョコ。友チョコ：友達に贈るチョコ(交換することも多い)。ファミチョコ：家族に贈るチョコ。逆チョコ：男性が女性に贈るチョコなどがあります。私は、広報委員の相棒の後藤さんに世話チョコを内緒で準備しています。皆さんは誰かにチョコをあげますか？ 厳しい寒さが続いています。お風邪など引かれませんように気をつけて過ごしてください。 リハビリテーション部 立道 翔太

川島ロイヤル・ワム・タウン



平成の森・川島病院	電話 049 (297) 2811
ロイヤルケアホーム川島(サービス付き高齢者向け住宅)	電話 049 (299) 0880
訪問看護ステーション 平成の森	電話 049 (297) 8331
介護老人保健施設 平成の森	電話 049 (297) 8808
居宅介護支援事業所 きすな	電話 049 (297) 8797
川島クリニック	電話 049 (297) 8783